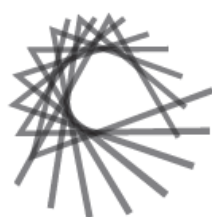


サイエンスアゴラ 2019 出展のご案内

応募締め切り 2019 年（令和元年）6 月 30 日（日）

テーマ: **Human** -どんな未来を生きていく？-  
in the New Age



SCIENCE AGORA 2019

## もくじ

1.	サイエンスアゴラとは	3
2.	サイエンスアゴラ 2019 開催概要	3
3.	募集企画について	3
4.	サイエンスアゴラ 2019 のテーマ	4
5.	サイエンスアゴラ 2019 からの「問い」	4
	●サイエンスアゴラ 2019 推進委員会 委員長からのメッセージ	5
6.	出展者に向けたスケジュール	6
7.	出展の形式	7
8.	出展料金の詳細	7
9.	選考方法と審査の観点	8
10.	応募の流れ	9
11.	オンライン応募フォームについて	10
12.	企画タイトル・出展者名の統一ルール	12
13.	サイエンスアゴラ 2019 メイン会場（テレコムセンター）構成	13
13-1.	会議室エリア	13
13-2.	テレコムアリーナ	14
	●ブース形式基本仕様	15
	●共創テーブル基本仕様	16
	●ステージ基本仕様	17
	●ミニステージ基本仕様	17
	●ワークショップスペース基本仕様	17
14.	シンボルプロムナード公園での企画実施について	18
15.	審査基準	18
15-1.	応募申請書項番 11～14 で考えたいこと	18
15-2.	応募申請書項番 15～18 で考えたいこと	18
	●会議室・ステージ・ミニステージの場合	19
	●共創テーブル・ワークショップスペースの場合	20
	●ブースの場合	20
	●広報計画の策定	21
付録		
	「対話・協働の深化」と「関心拡大の両立」	23
	協賛企業の募集について	23
	サイエンスアゴラ出展のメリット	23
	誘致企画、JST 企画について	25

## 1. サイエンスアゴラとは

サイエンスアゴラは、「科学」と「社会」の関係をより深めていくことを目的として、あらゆる立場の人たち（市民、研究者・専門家、メディア、産業界、行政関係者など）が参加し**対話するオープンフォーラム**です。※アゴラ (agora) は古代ギリシャ語で「広場」の意味

出展者にとっては、自身の研究や開発等、科学そのものの面白さ・深さを社会に伝える場であり、来場者からの声により「社会に求められる科学とは何か」を考える場です。来場者にとっては、普段出会えない研究者や専門家の考えを知り、これからの科学や技術に対し自らの希望を伝える場になります。また、サイエンスアゴラでの体験を周囲に伝えることは、参加できなかった人にも、科学と社会の関係を考えるきっかけを提供することになります

### ●サイエンスアゴラに集まる人たち全員が「参加者」

サイエンスアゴラでは、出展者、来場者を併せて「参加者」と捉えています。この場は、研究者だけが集まる学会ではなく、子供たちだけを対象としたイベントでもありません。多様な価値観を認め合いながら、皆が共に考え、未来社会を創り出す「共創」を重視します。科学技術を活用しながら、あらゆる立場の人たちが対話・協働し、それを政策形成や知識創造へ結びつける「共創」に関心をお持ちの方は、ぜひサイエンスアゴラにご参加ください。

## 2. サイエンスアゴラ 2019 開催概要

会期： 2019年11月15日（金）～11月17日（日）／10:00～16:30（予定）

会場： テレコムセンタービル（メイン会場）、日本科学未来館（セレモニー会場）、シンボルプロムナード公園（ウエストプロムナード）（お台場・テレコムセンター駅（ゆりかもめ）周辺地域）

## 3. 募集企画について

サイエンスアゴラ 2019 のテーマに関連する出展（有料）を募集します。**テレコムセンタービルでのセッション**と、**テレコムセンタービルならびにシンボルプロムナード公園におけるブース**での出展があります。サイエンスアゴラの基本的な考え方にご賛同いただける、企業、団体、グループからの応募をお待ちしています（組織名での出展は、組織の同意を得た上でご応募ください）。応募企画は、サイエンスアゴラ 2019 推進委員会が審査します。応募に際しては、以下の内容をご了承ください。

- 会期中に、2名以上で企画を遂行できる（当日に企画を放棄しない仕組みがある）
- ご自身の企画について、事前告知・広報による集客ができる**
- 主催者による動画、静止画の撮影を許可する（報告書等掲載や報道で利用される場合あり）
- 火気や危険物を用いない（JSTの指示に応じる）、実験等で参加者への安全配慮を実施できる
- セッション出展者は、セッション終了後1時間以内にレポートを記入し運営事務局に提出する
- ブース出展者は、タッチラリーに参加する（出展者の費用負担はありません）

## 4. サイエンスアゴラ 2019 のテーマ

# Human

in the New Age

-どんな未来を生きていく？-

あなたは、科学技術の開発がさらに進んでいるであろう未来に、どんな暮らしをしていきたいですか？ 望む未来に必要な技術とは？ 機械や新技術に委ねたくない人間性とは？ **サイエンスアゴラ 2019** では、**そもそも人間とは何なのか、自分は何を選びたいのか、目の前のものをどう使いたいのかを、さまざまな視点から考える機会を提供します。**

平成から令和に変わった 2019 年は、新たな時代を考える契機となる年です。国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）と国際科学会議（ICSU）が共催した世界科学会議での「科学と科学的知識の利用に関する世界宣言（ブダペスト宣言）」から 20 年が経過し、改めて「社会における科学」「社会のための科学」のあり方に焦点が当てられる年でもあります。さらに、2020 年東京オリンピック・パラリンピックは日本の科学技術を世界に発信する機会となります。グローバルな目線で様々な社会課題を見つめ直し、科学技術が何を実現できるのかを、参加者みんなと一緒に考えませんか。

### 参考：「Human」を考えるにあたり意識したいイベント

2019 年	G20 大阪サミット（6 月 28 日～29 日）
	第 7 回アフリカ開発会議（TICAD7）（8 月 28 日～30 日）
	第 2 回世界防災フォーラム（WBF2019）（11 月 9 日～12 日）
	World Science Forum 2019 Budapest（11 月 20 日～23 日）
2020 年	成長のための栄養(N4G)サミット 2020（仮称）
	2020 年東京オリンピック（7 月 24 日～8 月 9 日）
	2020 年東京パラリンピック（8 月 25 日～9 月 6 日）
2025 年	2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

## 5. サイエンスアゴラ 2019 からの「問い」（募集テーマ）

参加者全員で考えたいことを 4 つの「問い」として会場に掲げます。「Human」をどういう方向から考えるかの指標としてください。出展企画は、いずれかの問いに紐付けて紹介されます。

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1) 人間らしさって、なに？       | 2) 人とのつながりは何を生み出す？ |
| 3) 人類が抱える課題にどう立ち向かう？ | 4) 未来に向かって何をすればいい？ |

サイエンスアゴラ 2016 以降、会場に設置した「ご意見募集ボード」を通じて、新しいロゴに対する意見や、科学技術に対する期待などの声を集めてきました。今年の問いは、昨年の分析結果をふまえ、**サイエンスアゴラ 2019** で話し合うトピックとして設定しています。

昨年の「ご意見募集ボード」に寄せられたコメントを分析した結果、「人間らしさ」や「人とのつながり」について知りたい、考えたい、と思う人が多いことがわかり、1) 2) の問いを設定しています。3) は国内外の様々な社会課題をどう解決するかという視点で、4) は「こういうことができれば便利だけど科学技術で解決できる？」という自由な発想で、よりよい未来を作るために科学技術は何をしたらいいか、科学技術に何を期待するのかを考える契機にすべく、設定しました。これらの問いに基づき、多くの方と対話することで、新たな視点を獲得し、未来への一步を踏み出すきっかけとなれば幸いです。

## サイエンスアゴラ 2019 推進委員会 委員長からのメッセージ

科学や技術は私達自身や私達の社会に様々な形で影響を与えてきました。食料の安定的供給や病から我々を守ってくれる一方で、汚染などの環境破壊や未知の技術への不安ももたらしてきました。今後は科学や技術のあり方はより急速かつ複雑なものとなり、更に社会に深く浸透し、良くも悪くも意識されにくいものになるのかもしれませんが。

しかし私達ヒト (Human) のすべての行い (Art) の主体は私達 Human です。だからこそ、世の中の様々な物事に興味を持ち、ソウゾウすることは今後私達自身にとっても世界にとってもより一層大切なことになるでしょう。いろいろな側面から、私達 Human について見つめ直し、これからの在り方について皆さんが興味や「おもしろい」と思う気持ちを強くするきっかけになればと考えて、今年のサイエンスアゴラでは”Human”をメインテーマに掲げました。皆さんの素朴で素敵な気持ちを高ぶらせ、周りの人たちのそれと混ぜ合わせ、自分では考えつかなかったアイデアを作り出す場 (アゴラ) で、サイエンスの楽しさを持ち帰って、人生を豊かなものにしてもらえればと思います。

サイエンスアゴラ2019推進委員会 委員長 駒井章治



**駒井章治**

奈良先端科学技術大学院大学  
准教授

日本学術会議若手アカデミー委員会委員長や Global Young Academy の Executive Committee 委員を歴任。科学者全員が活躍できるチャンスのある社会を目指す。専門は神経科学。



**齋藤敦子**

一般社団法人  
Future Center Alliance  
Japan(FCAJ) 理事/  
ディレクター

産官連携でインパクトあるイノベーションを興す場づくりに取り組むFCAJで理事を務める。ワークプレイスの企画・設計からイノベーションや創造都市などを切り口とした働き方研究を専門とする。

### サイエンスアゴラ 2019 推進委員会



**根本かおり**

株式会社博報堂  
ブランド・イノベーション  
デザイン局ストラテジック  
プランニングディレクター

生活者発想を軸とした未来洞察アプローチによる商品・事業・組織の開発が専門分野。産官学の多様なフィールドのプレイヤーとの対話形式で未来を構想・創出していくプログラム・仕組みづくりをメインフィールドに活動中。



**廣常啓一**

株式会社  
新産業文化創出  
研究所  
代表取締役 所長

次世代の社会や潜在的市場に、技術や研究(企業や大学)をどの様に結び付け、持続的・社会課題解決型の事業及びまちづくりにつなげるかをプロデュース。大阪万博などの大型プロジェクトにも参画。



**南澤孝太**

慶應義塾大学大学院  
メディアデザイン  
研究科  
教授

人の身体感覚を共有し拡張する「身体性メディア」の研究者。触覚技術を社会価値に繋げる HAPTIC DESIGN や、技術と文化と身体を融合するスポーツ共創などの活動を推進。



**宮野公樹**

京都大学  
学際融合教育研究  
推進センター  
准教授

思索と実践の自由な場を大学内で創出し、学問本来のあり様をもとめる挑戦を続けている。理工系出身ながら、現在は哲学の研究者。



**荒川敦史**

科学技術振興機構  
「科学と社会」推  
進部 部長

多様な組織の共創を促す「CHANCE 構想」、科学技術を用いて地域の社会課題解決やSDGs 達成を目指す「STI for SDGs」アワード」や「SOLVE」の立ち上げに携わる。



**藪本晶子**

科学技術振興機構  
日本科学未来館  
科学コミュニケーション  
専門主任

文学部卒業後、教育教材、雑誌、書籍などの編集に従事。日本科学未来館では媒体制作のほか、文化や社会に関わる展示やイベントの企画開発、および情報編集を担当。

## 6. 出展に向けたスケジュール (★は出展者が独自に行う作業です)

- 6月3日(月) ● 応募開始
  - ★出展内容の方向性検討、登壇者等への打診、必要経費の確保など
  - ★広報計画の策定……………参照：21 ページ
  - ★応募申請書の提出……………参照：9 ページ～
- 6月30日(日) ● 応募〆切
- 7月 ● 審査
- 8月上旬 ● 審査結果通知
  - ★登壇者、協力者等への連絡
- 8月下旬 ● 公開情報の登録期間 (※以降の詳細スケジュールは後日の連絡となります)
  - ★公開情報登録、出展同意書の登録、備品等の申請
- 8月30日(金) ● 出展料金の支払い〆切
  - ★指定口座への振り込み
- 9月 ● 会場見学・出展者説明会
  - ★参加
- 出展者マニュアル掲載
  - ★マニュアルのダウンロードと内容の確認
- 9月中旬 ● ウェブサイトで全プログラム公開 (プレスリリース後)
  - ★広報計画の実施 (必要に応じ独自印刷物の手配)
  - ★手続き等の確認
- 10月 ● JST による公式チラシ・ポスター完成
  - ★台本の作成、協力者との情報共有
  - ★必要に応じ荷物の発送準備
- 11月15日(金) ● 開幕セレモニー・基調講演 (日本科学未来館)
  - ★ブース搬入日ですが基調講演も是非ご聴講ください
- 11月16日(土) ● メイン会場オープン (テレコムセンター)
  - ★企画実施
- 11月17日(日) ● 閉幕セレモニー
  - ★企画実施および搬出

開催後は、事務局からのアンケート、インタビュー等にご協力ください

## 7. 出展の形式

A. セッション出展
ステージ・ミニステージ・ワークショップスペースは、講演やパネルディスカッション、ワークショップなどに向きます。共創テーブルは小規模の対話イベントにおすすめてです（仕様詳細は 13 ページ以降を参照、規模は下記の表を参照）
B. ブース出展（11月16日(土)、17日(日)の連続出展ができる出展者に限ります）
ブースで行う各種展示を想定。テレコムセンタービルでは幅 3m×奥行き 3m×高さ 2m のスペース内を設営（仕様詳細は 15 ページを参照）。屋外で広いスペースを必要とする企画向きの <u>シンボルプロムナード公園への出展は応募前に事務局までお問い合わせください</u> （ご要望に応じたスペース調整のため。雨天時は実施会場が変更になります）。

セッションのタイムスケジュール、ブースの配置は事務局が決定するため、場所や時間を選ぶことはできません。セッションは 1 枠 140 分（準備・撤収含む）での実施が基本となり、最大 2 枠までの連続申し込みができます（審査により 1 枠になることもあります。2 枠実施可能日時は 17 日（日）午後を想定）。ブースは最大 3 ブースまでの申し込みができますが、審査により 1 ブースになることもあります。

出展タイプ	A.セッション出展							B.ブース出展	
	会議室エリア（8階）			テレコムアリーナ（1階、3～5階）				プロムナード公園	
	シアター	スクール	島型	ステージ	ミニステージ	ワークショップスペース	共創テーブル	屋内ブース	屋外ブース
1回人数	150～200人	50～100人	20～50人	150～200人	20～30人	～20人	～20人	～20人	～20人
想定時間	準備・撤収含め 1 枠 140 分以内（※実施は 90 分以内を想定）							2 日連続出展	
パネル設置	△	△	△	△	△	△	△	◎	×
スライド投影	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△	×
講演・セミナー	◎	◎	×	◎	◎	◎	△	△	×
ワークショップ	×	×	◎	◎	△	◎	◎	◎	×
工作・実験	×	△	◎	△	△	△	△	△	×
実演	×	△	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎

※凡例 ◎：実施に適し、必要最低限の備品を事務局で用意できる

△：出展者が必要な備品を用意したり参加者人数に注意したりの工夫をすれば実施できる

×：想定していない、または向かない

## 8. 出展料金の詳細

- 設営や設備使用にかかる費用の一部負担分としてお支払いいただきます（振込先等は採択時に通知。公共機関・大学等で伝票払いが必要な場合も対応可能です）
- ブース、セッションの別を問わず、1 企画ごとに 20,000 円（税込）がかかります。ただし、共創テーブルとシンボルプロムナード公園は 1 企画 10,000 円（税込）です

- ブース追加ごと、時間枠追加ごとに 20,000 円（税込）が加算されます。ただし、共創テーブルとシンボルプロムナード公園は 10,000 円（税込）の加算となります
- 出展料金にはタイプ別の基本設備が含まれます（詳細は 13～17 ページを参照）
- 基本設備以外に必要な機器、什器等はご自身でご用意ください。ご希望の方には、事前の申し込みにより、有料で設備等の手配が可能です（0.5kW を超える電気の使用も有料となります）
- お客様都合による採択決定後のキャンセル・返金はお受けしておりません
- 材料費、搬送費、会場までの交通費、宿泊費など一切の費用は出展者でご負担ください
- シンボルプロムナード公園への出展は、雨天の場合、実施会場が変更になります

## 9. 選考方法と審査の観点

採択予定数は**合計 120～140 企画程度**です（会場設計により増減の可能性あり）。応募申請書をもとに、下記「審査の観点」に基づき、サイエンスアゴラ 2019 推進委員会による審査を経て採択を決定します。採択通知はメールで行い、委員会からのコメントがある場合は併せてお知らせします。

### 【審査の観点】

- ① 参加者に提供できるものが考えられているか（参加者に新しい観点を与えられるか）
- ② 出展を通して、出展者自身が得たいものが考えられているか
- ③ 参加者に投げかけたい問いが考えられているか（参加者と一緒に考えたいことは何か）
- ④ 時間・空間の配分や配付資料等が適切か（関心度が異なる人への配慮も考えられているか）

※「15. 審査基準」もご確認ください（18 ページ～）

審査の観点が充実している企画には注目企画としての実施をお願いする場合があります。注目企画に選ばされると、公式ウェブサイトやチラシ等で優先的な紹介が行われるなどの特典があります。



## 10. 応募の流れ

サイエンスアゴラ 2019 に出展するための応募申請は、WEB 上の「オンライン応募フォーム」で受け付けます。サイエンスアゴラのウェブサイトからアクセスし、注意事項をご確認のうえご応募ください。

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/>

### 1) 応募のためのログイン ID の取得

応募に際しては、ログイン ID を取得し、パスワードを登録する必要があります。今後の事務手続きで連絡窓口になる方がご登録ください（採択通知ほか各種連絡は、この ID のメールアドレスにお送りします）。2015 年以降にサイエンスアゴラへの出展にご応募いただいたことのある方は、同じ ID を引き続きご利用いただけます。

- ✓ 1 企画につき、ひとつの ID での応募をお願いします
  - 例) ブースとセッションを同時に申し込む →2 つの ID が必要
  - 例) 3 カ所で異なった企画を実施したい →3 つの ID が必要

### 2) 応募

「マイページ」にアクセスし、公開資料より必要書類（応募申請書および記入説明書）をダウンロードしてご応募ください。

### 3) 応募の確定

必要事項を記入したらアップロードします。最後に「送信」ボタンを押して応募を確定してください。応募確定後も、応募受付締め切り日時までは、入力した情報の確認・修正ができますが、締切日以降は、修正も閲覧もできません。送信内容をご自身で管理してください。

**募集期間**

**2019年6月3日(月)～6月30日(日)23:59<sup>※日本標準時間</sup>まで**

**出展に関するご相談先 ※2019年6月25日(水)まで**

JST サイエンスアゴラ事務局

E-mail : [agora@jst.go.jp](mailto:agora@jst.go.jp)

(情報の行き違い防止のため、メールでお問い合わせください)

**運営全般、装飾・施工関係のお問い合わせ先**

サイエンスアゴラ 2019 運営事務局 (株式会社工芸社内)

問合せ時間 9時から17時まで(平日のみ、土日祝日を除く)

TEL : 03-5684-7340

E-mail : [agora@kogeisha.co.jp](mailto:agora@kogeisha.co.jp)

## 1.1. オンライン応募フォームについて

- ✓ ここから登録する内容は、会場設計に用いる重要な情報なので、具体的にご記入ください
- ✓ 登録内容記入中、途中でページを閉じるとデータは保存されないのご注意ください
- ✓ 「マイページ」に掲載の公開資料より、**専用様式【2019】応募申請書 (Excel) と【2019】記入説明書 (PDF) をダウンロードし、申請書を作成してください**

サイエンスアゴラ 2019 応募申請書

※注：複製の企画を応募する場合は、必ず、別紙添付です。

1 出展タイトル (※全角25文字以内)

2 出展者名 (※全角200文字以内)

3 上記団体様のホームページURL (※全角200文字以内)

4 責任者情報 (※所属、役職、氏名)

5 7-1 形式 (※形式、選択してください)

6 7-2 上記の「形式」で変更した場合は理由 (※全角200文字以内)

8 出展の内容 (※全角200文字以内)

9 主な出展者情報 (※全角200文字以内)

10 問い合わせ先 (※全角200文字以内)

11 出展の主な対象 (※特に重視するコミュニケーションの対象を選択してください)

12 出展を通して、参加者に提供できるもの (※全角200文字以内)

13 出展を通して、出展者自身が得たいもの (※全角200文字以内)

14 参加者に届けたい問い合わせ先 (※全角200文字以内)

15 出展者情報 (※全角200文字以内)

16 出展当日のタイムテーブル (※全角200文字以内)

17 出展者担当の人員構成 (※全角200文字以内)

18 出展後の反響計画 (※全角200文字以内)

20-1 特設事項 (※全角200文字以内)

20-2 上記「特設事項」を記入した場合は、具体的な内容も記入

21 特設すべき事項 (※全角200文字以内)

【2019】応募申請書

(Excel) の

記入に際しては

【2019】記入説明書 (PDF) を

お読みください

サイエンスアゴラ 2019 応募申請書

記入説明書

※注：複製の企画を応募する場合は、必ず、別紙添付です。

1 出展タイトル (※全角25文字以内)

2 出展者名 (※全角200文字以内)

3 上記団体様のホームページURL (※全角200文字以内)

4 責任者情報 (※所属、役職、氏名)

5 7-1 形式 (※形式、選択してください)

6 7-2 上記の「形式」で変更した場合は理由 (※全角200文字以内)

8 出展の内容 (※全角200文字以内)

9 主な出展者情報 (※全角200文字以内)

10 問い合わせ先 (※全角200文字以内)

11 出展の主な対象 (※特に重視するコミュニケーションの対象を選択してください)

12 出展を通して、参加者に提供できるもの (※全角200文字以内)

13 出展を通して、出展者自身が得たいもの (※全角200文字以内)

14 参加者に届けたい問い合わせ先 (※全角200文字以内)

15 出展者情報 (※全角200文字以内)

16 出展当日のタイムテーブル (※全角200文字以内)

17 出展者担当の人員構成 (※全角200文字以内)

18 出展後の反響計画 (※全角200文字以内)

20-1 特設事項 (※全角200文字以内)

20-2 上記「特設事項」を記入した場合は、具体的な内容も記入

21 特設すべき事項 (※全角200文字以内)

- ✓ **マイページは 60 分でタイムアウト**になるため、**【2019】応募申請書 (Excel) を作成した後に、応募フォームの入力を開始してください**

### [1] 出展者について

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
1	出展者の名称	出展者の名称を記入ください (全角25字以内)。この名称がプログラム等へ掲載されます。字数に超過がある場合、掲載時に削除される場合があります。	テキスト	
2	出展タイトル	企画タイトルを記入ください (全角25字以内)。このタイトルがプログラム等へ掲載されます。字数に超過がある場合、掲載時に削除される場合があります。	テキスト	

3	問い	どの「問い」との結びつきが強いかを選んでください。	ラジオボタン	<input type="radio"/> 人間らしさって、なに？ <input type="radio"/> 人とのつながりは何を生み出す？ <input type="radio"/> 人類が抱える課題にどう立ち向かう？ <input type="radio"/> 未来に向かって何をすればいい？
4	出展者の属性	出展者の属性を選択肢から1つ選んでください。該当がない場合は「その他」を選択してください。	ラジオボタン	<input type="radio"/> 大学・研究機関 <input type="radio"/> 学校関係（小中高等） <input type="radio"/> 科学館／博物館 <input type="radio"/> メディア <input type="radio"/> 企業 <input type="radio"/> 行政機関 <input type="radio"/> NPO／NGO等 <input type="radio"/> 組織ではない（有志の集まりなど） <input type="radio"/> その他
5	責任者氏名	企画提供の責任者の所属、役職、氏名を記入ください。採否通知等、サイエンスアゴラ事務局からの連絡等は責任者さま宛となります。	テキスト	
6	実績	過去にサイエンスアゴラでの企画提供の実績があれば、その年を選んでください。	チェックボックス	<input type="checkbox"/> 2006 <input type="checkbox"/> 2007 <input type="checkbox"/> 2008 <input type="checkbox"/> 2009 <input type="checkbox"/> 2010 <input type="checkbox"/> 2011 <input type="checkbox"/> 2012 <input type="checkbox"/> 2013 <input type="checkbox"/> 2014 <input type="checkbox"/> 2015 <input type="checkbox"/> 2016 <input type="checkbox"/> 2017 <input type="checkbox"/> 2018

## [2] 企画の内容について

※一部上記1-6の項目と同様の記載を含みます。

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
7	応募申請書	指定の様式 (Excel) をダウンロードし、応募申請書を作成のうえ、添付にて提出ください。	添付	

**15. 審査基準 (18 ページ～) も併せてご参照ください**

## [3] 特別事項

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
8	通訳設備配置について	同時通訳の設備の利用 ※ 通訳の手配を申し込むものではありません。通訳者、機材の手配は出展者自身でお願いしております。	チェックボックス	<input type="checkbox"/> 利用する
9	英語対応	英語対応が可能ですか。 ※ 国内外からの日本語を母語としない参加者が増えています。そのため、英語での企画内容の説明やコミュニケーション、印刷物の英語版の作成など、何らかの工夫を推奨します。	チェックボックス	<input type="checkbox"/> 可能

**[4] 個人情報の取り扱いについて**

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
10	JST からの ご案内	応募にあたり登録いただいた連絡先に、JST 事業の 各種ご案内などをお送りしてもよろしいですか。	ラジオ ボタン	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
11	調査研究 目的の利用	応募にあたり登録いただいた属性等を、科学コミュ ニケーションにかかる調査研究などの目的に利用 してもよろしいですか。	ラジオ ボタン	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ

**[5] 確認事項**

12	確認	募集要項に記載の「応募の条件」を確認しましたか。	チェック ボックス	<input type="checkbox"/> はい
----	----	--------------------------	--------------	-----------------------------

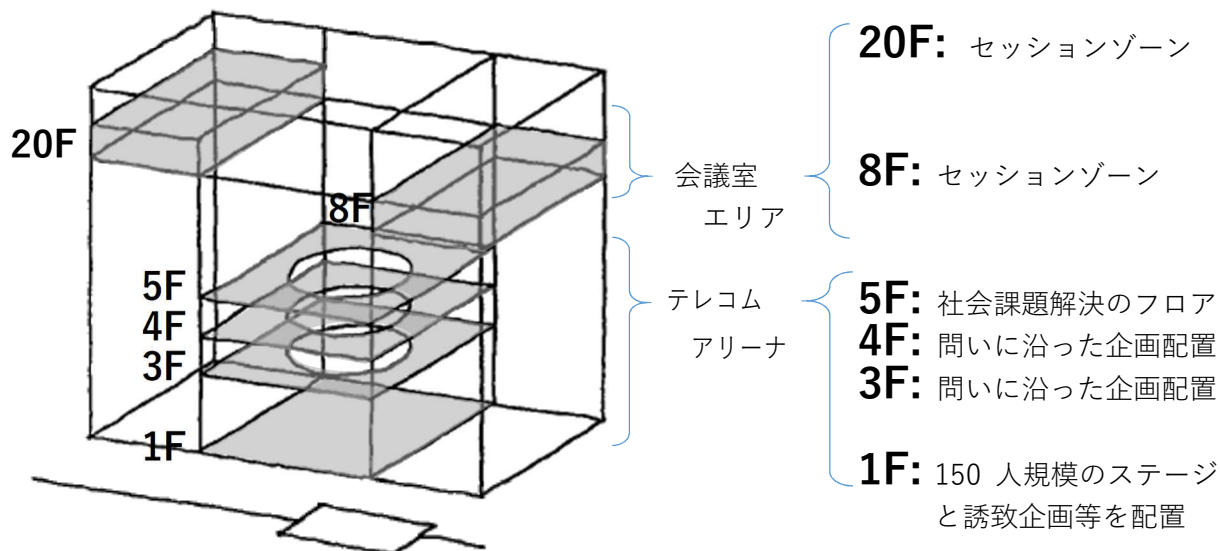
**1 2. 企画タイトル・出展者名表記の統一ルール**

サイエンスアゴラでは、表記について以下のルールを設けています。ルールに沿っていないものは事務局が適宜修正するのでご了承ください。

- ルール (1)** 法人格（国立大学法人、株式会社、特定非営利活動法人など）はすべて省略
- ルール (2)** 法人名・機関名と部署名の間には半角スペースを挿入  
部署名が複数続く場合は見やすさの観点から、適宜、半角スペースを挿入
- ルール (3)** カタカナ・英数字はすべて半角で記入（スペースも半角）  
記号（丸括弧（ ） かぎ括弧「 」 中点・句点。読点、感嘆符！ 疑問符？ チルダ～ など）  
はすべて全角で記入
- ルール (4)** 企画タイトルにサブタイトルがある場合の表記は以下の通りとする  
主タイトル 半角スペース チルダ サブタイトル チルダ  
例）光の色彩 ～視覚で楽しむ炎色反応～
- ルール (5) その他**
- ① タイトル全体がかぎ括弧「」などで囲まれている場合は、とる
  - ② 一重括弧なしに二重括弧が使われている場合は、一重括弧に変更
  - ③ 複数の出展者が同列で列挙する場合は、読点で区切る
  - ④ 感嘆符、疑問符の後ろは、原則、半角スペースを空ける

### 1 3. サイエンスアゴラ 2019 メイン会場（テレコムセンター）構成

メイン会場は、テレコムセンタービルのテレコムアリーナ（1階、3階、4階、5階）と、会議室エリア（8階、20階）を予定しています。20階はJSTの企画で使用し、公募企画は配置しません。



#### 1 3 - 1. 会議室エリア

会議室エリアはセッション形式の企画で構成します。会議室4室の床面積は全て同じです（262㎡）。



会議室エリアの基本仕様は3パターンです。

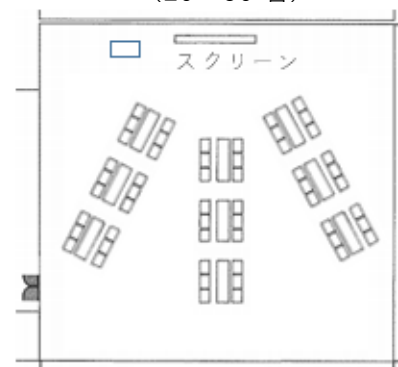
1) シアター形式  
(150~200名)



2) スクール形式  
(50~100名)



3) 島形形式  
(20~50名)



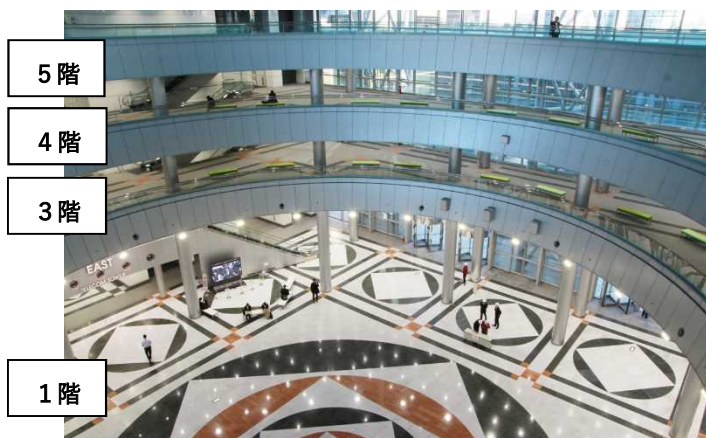
**基本設備**：プロジェクター、スクリーン（120インチ）、マイク、音響、演台（机）、コンセント

※ 壁面にパネル等の貼り付けなどはできません。パネルやホワイトボードの設置が必要な場合は、出展者が持ち込むか、有料備品のお申し込みが必要です。

※ 机や椅子の配置・原状復帰は出展者で行います。準備・撤収の時間は厳守してください。

### 13-2. テレコムアリーナ

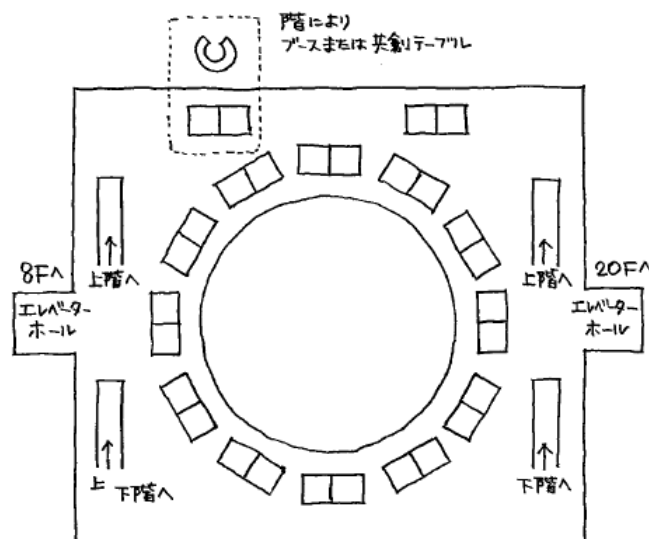
テレコムアリーナは、ブース、ステージ、ミニステージ、ワークショップスペース、共創テーブルの企画で構成します。吹き抜けのため、落下物が無いようご注意ください。手すりに物をかけることはできません。また、手すりや、ブースの外側の壁にポスター等を掲示することはできません。



#### 5~3階基本レイアウト

ミニステージ、ワークショップスペース、共創テーブルとブースで構成予定

※ 図は公募時の基本配置案で、状況により変更となります。5階は壁に沿ってブースが並ぶレイアウトを予定しています



## 1階（レイアウト未定）

※ステージ（150名）でのセッションは公募企画から配置します

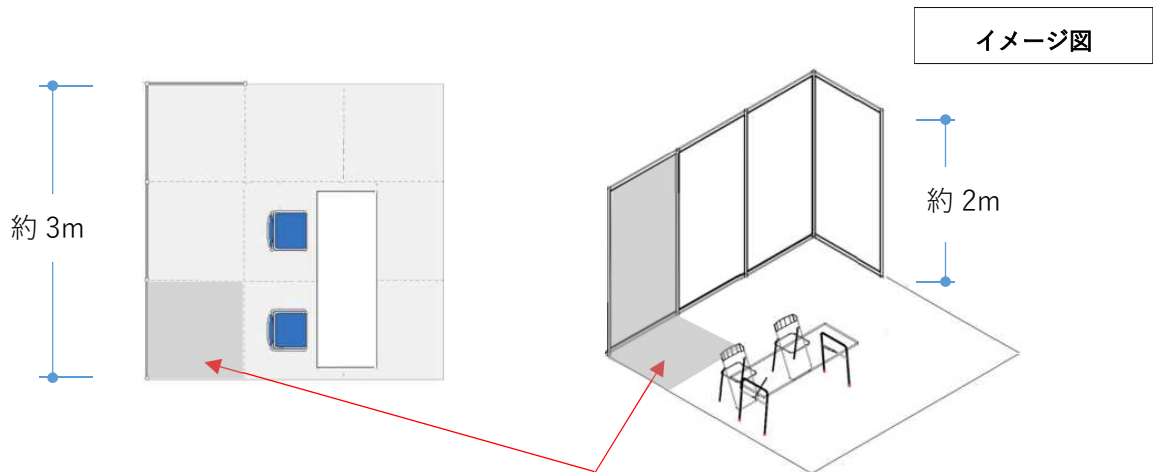
※ブースは公募企画からの配置はありません

### ステージ以外の配置企画（予定）

- ・ご意見募集ボード・セッションレポートボード
- ・国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト（IVRC）
- ・良縁創出企画「お台場100人論文」
- ・見えちゃう！タッチラリー（総合受付）

## ブース形式基本仕様（状況により変更になる場合があります）

### ●1小間出展（幅3m、奥行き3m、高さ2m）の場合

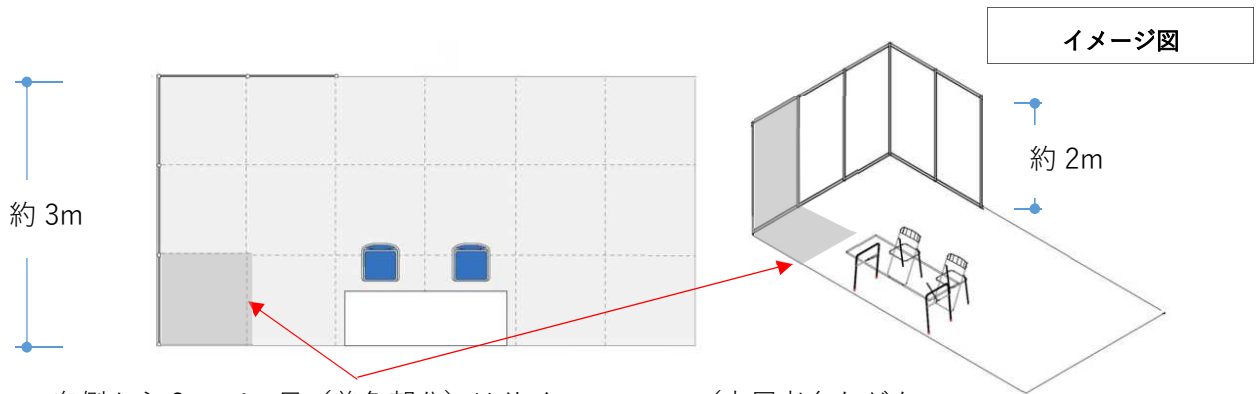


奥側から3スパン目（着色部分）はサインスペース（出展者名などを記載）となるため、サイン前1mも含め物を置くことはできません。

小間出展	間仕切り壁面（システムパネル W990×H2100 で構成）
基本設備	※壁面への画鋸や釘の使用、現状復帰不可の接着剤等での貼り付けは禁止 ※パネルの設置に必要なチェーン等をご持参ください
	テーブル（W1800×D600×H700）1台
	イス 2脚
	コンセント（2口・0.5kw まで ※お申し込みが必要です）
	サイン

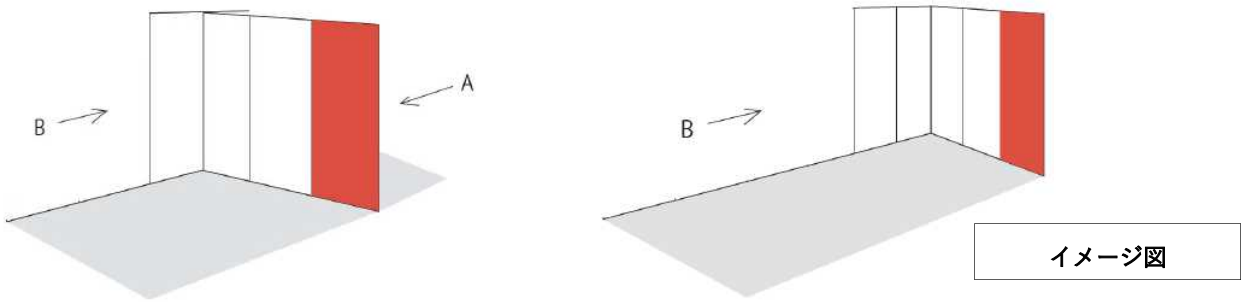
※上記は1ブースの場合。複数小間の出展の場合、基本設備の個数は倍になります

●2小間出展（幅6m、奥行き3m）の場合



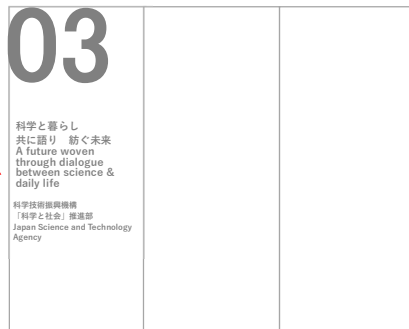
奥側から3スパン目（着色部分）はサインスペース（出展者名などを記載）となるため、サイン前1mも含め物を置くことはできません。

●ブース形式 サインスペースについて



サインスペースイメージ  
企画番号  
出展者名  
企画タイトル

矢印 A から



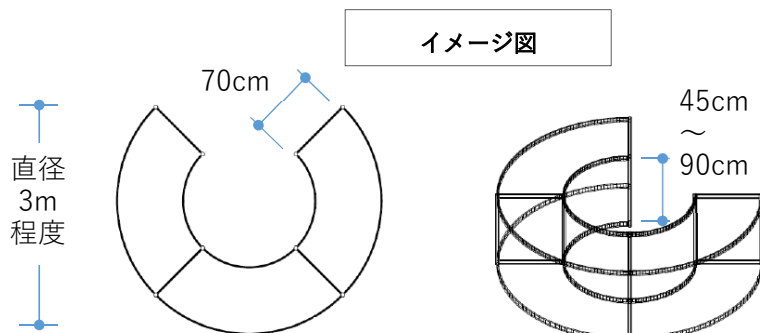
矢印 B から



※ デザインは状況により  
変更となります

共創テーブル基本仕様（状況により変更になる場合があります）

※来場者との距離が近いテーブルです／テレコムアリーナ 3～5 階のいずれかに設置



共創テーブル 基本設備  
コンセント  
(2口・0.5kw まで)  
※お申し込み不要

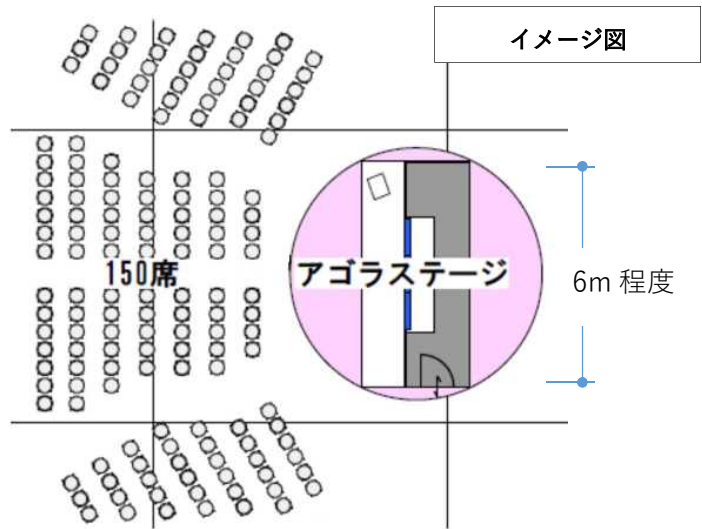
イスは基本設備に含みません



### ステージ基本仕様（状況により変更になる場合があります）

※テレコムアリーナ 1 階に設置される大きなオープンステージです

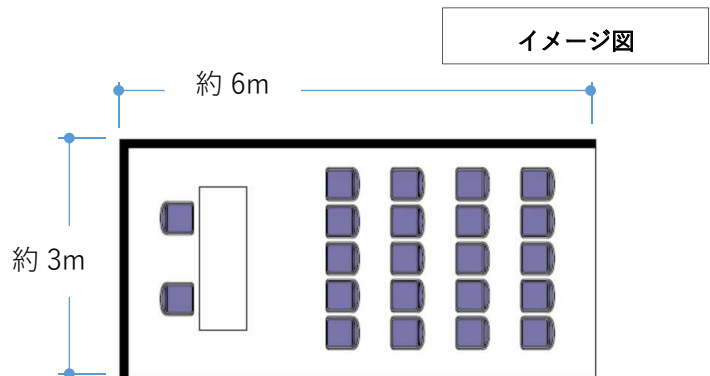
- 基本設備
- スクリーン
  - 演台（机）
  - マイク
  - 音響
  - イス
  - コンセント



### ミニステージ基本仕様（状況により変更になる場合があります）

※来場者との距離が近いオープンステージです／テレコムアリーナ 3～5 階のいずれかに設置

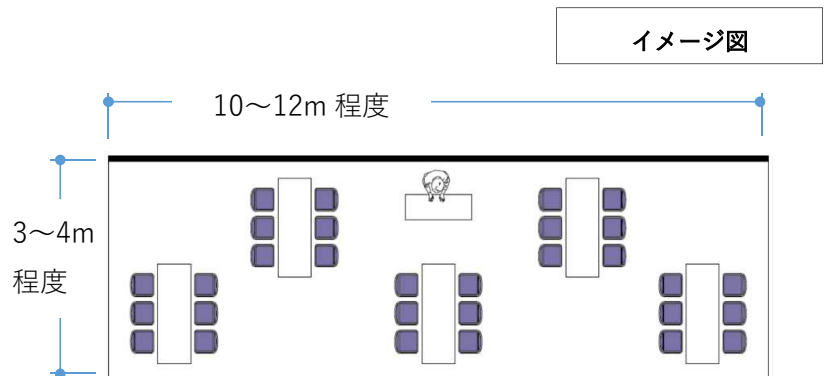
- 基本設備
- 液晶モニター
  - 演台（机）
  - マイク
  - 音響
  - イス
  - コンセント



### ワークショップスペース基本仕様（状況により変更になる場合があります）

※来場者との距離が近いオープンスペースです／テレコムアリーナ 3～5 階のいずれかに設置

- 基本設備
- 液晶モニター
  - テーブル
  - イス
  - コンセント



## 1 4. シンボルプロムナード公園での企画実施について

サイエンスアゴラ 2019 では、日本科学未来館館の横のシンボルプロムナード公園（ウエストプロムナード）を利用できます。屋外の広いスペースを使った体験型の企画におすすめです。**公園での企画実施を希望される方は、応募の前に運営事務局にご連絡ください。**雨天の場合は別会場での企画実施となります。

## 1 5. 審査基準

応募申請書作成にあたっては 10 ページに記載の「【2019】記入説明書」(PDF)をお読みください。審査のポイントとなる企画内容を検討のうえ、サイエンスアゴラの主旨に沿っていることがわかるように整理してご記入ください。



### 1 5 - 1. 応募申請書項番 12~14 で考えたいこと

#### ポイント 1 誰が主要な対象なのか

具体的に対象を絞り、あなたの企画の価値を適切に伝えられるように、対話のシナリオを作成してください。ただし、主要な対象以外への説明を怠ることがないようにご配慮ください。

#### ポイント 2 難しい言葉を使っていないか

普段のコミュニティとは違う人との対話を成立させる最低限の配慮として、専門用語に解説をつける、簡単な背景を紹介する、配布資料を作成するなど、来場者が話しやすい環境を作ってください。

#### ポイント 3 異なる意見を排除していないか

多様な意見に耳を傾け、基本的な合意ができるポイントはどこか、異なる意見を把握したうえで、より良い未来づくりに向けた建設的な議論をしてください。

#### ポイント 4 出展の狙いは明確か

サイエンスアゴラへの出展の結果、どのような成果を得たいですか？ 参加者がどのようになれば成功、という具体的なイメージを描くなど、ゴールを明確化してください。

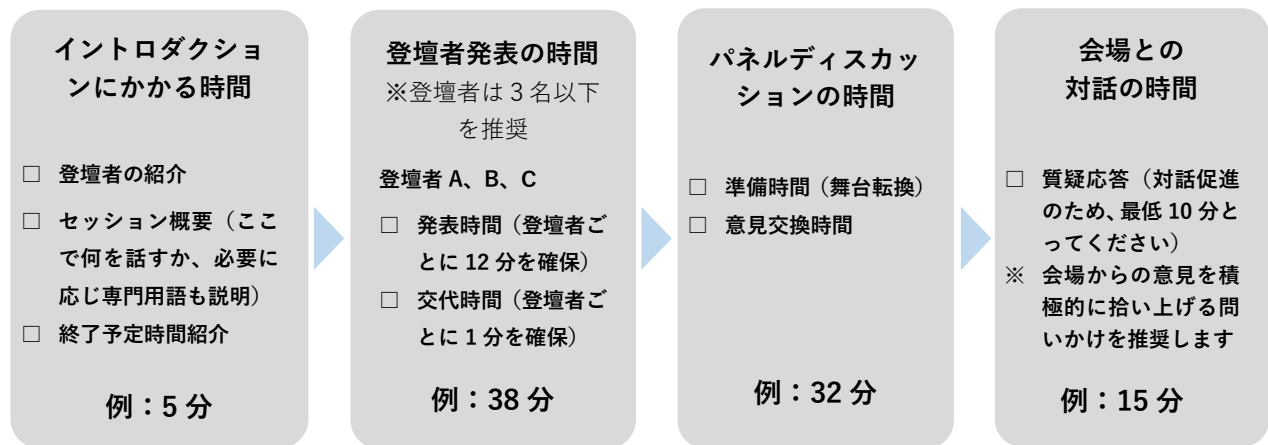
### 1 5 - 2. 応募申請書項番 15~18 で考えたいこと

セッションでは、情報を詰め込み過ぎるとわかりにくくなります。みんなで考えるための時間を設けるなど、対話を進めるための仕組み作りが十分かを、多様な来場者を想像しながら検討しましょう。

#### 会議室・ステージ・ミニステージの場合

来場者アンケートでよくある意見は「登壇者が多すぎて、一人一人の話す時間が短く物足りなかった」「専門家が言い放しで結論がわからなかった」「質問したかったが、時間切れでできなかった」というものです。90 分のセッションなら、**登壇者は 3 名で設計されることを強くおすすめします。**登壇者が多すぎて十分な意見の交換が行えないと判断された場合、時間・空間の配分が適切か、という点で評価が低くなります。次ページの時間配分の例などを参考に、セッションの流れをご検討ください。

## ●セッションの時間配分の例



※セッションは1枠90分での実施、準備と撤収は25分ずつ、合計140分です。終了時間を厳守してください

## ●イントロダクションのポイント

サイエンスアゴラは幅広い参加者で構成されます。「専門知識はないがトピックに興味はあるので話を聞いてみたい」という来場者も訪れます。セッション冒頭では、この企画ではトピックに関連するどのような内容を話すのか、などを説明できると良いでしょう。また、あらかじめ専門用語のリストを作って入口に掲示したり、資料としてお渡ししたりする、といった取り組みが有効です。また、セッションでの時間割も紹介しておくこと、全体像が分かりやすくなり、セッションの最後まで話を聞いてもらえる率が高くなります。

## ●登壇者発表でのポイント

登壇者の発表時間を10分以下にすると、専門知識の量が多くない参加者に内容を理解してもらうことが難しくなる傾向があります。登壇者の時間は最低でも12~15分程度をとるようにしてください。また、登壇者には「来場者には初心者もいる」ことを伝えて、丁寧な説明を心がけるよう促してください。見落としがちなのが、登壇者の交代時間です。PCの交換等に時間がかかることがありますので、余裕をもった時間配分としてください。

## ●パネルディスカッションでのポイント

同じ意見を持つばかりで登壇者を構成するのは好ましくありません。世の中の様々な声を取りあげてこそ、サイエンスアゴラでセッションを実施する意味があります。異なる意見の人も含めて対話ができる工夫をお願いします。

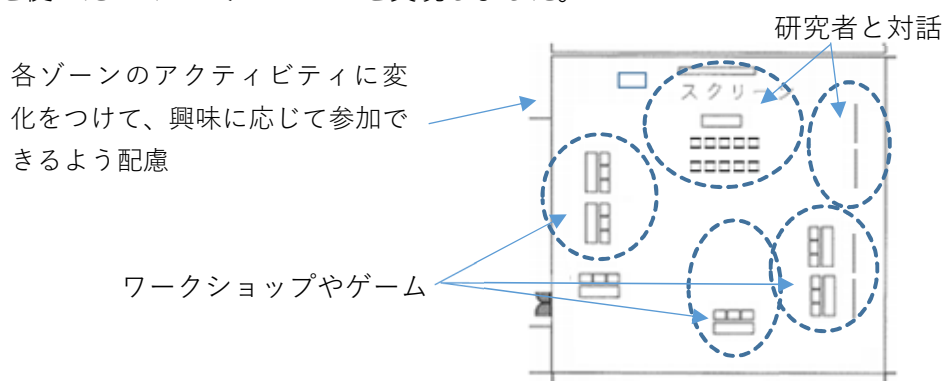
## ●会場との対話におけるポイント

質疑応答の際に「質問はありませんか」と聞くだけでなく「この技術を広めるためにはどうしたらいいですか」など、会場からの意見を積極的に拾い上げる問いかけを行ってみてください。

## ●会議室のレイアウトについて

会議室のレイアウトは自由にアレンジできます。やりたい企画に合ったレイアウトを考えてみましょう。2017年にサイエンスアゴラ賞を受賞した『親子でチャレンジ！ -17の世界目標を通じて地域課題をクリアしよう！-』（高専-長岡技大連携グローバルPJ）では、対話を促進するため、次ページの図のような会場設計を行い、各テーブルでの異なるゲーム、ポスターセッションでの研究者との対

話など、会議室全体を使ったコミュニケーションを実現しました。



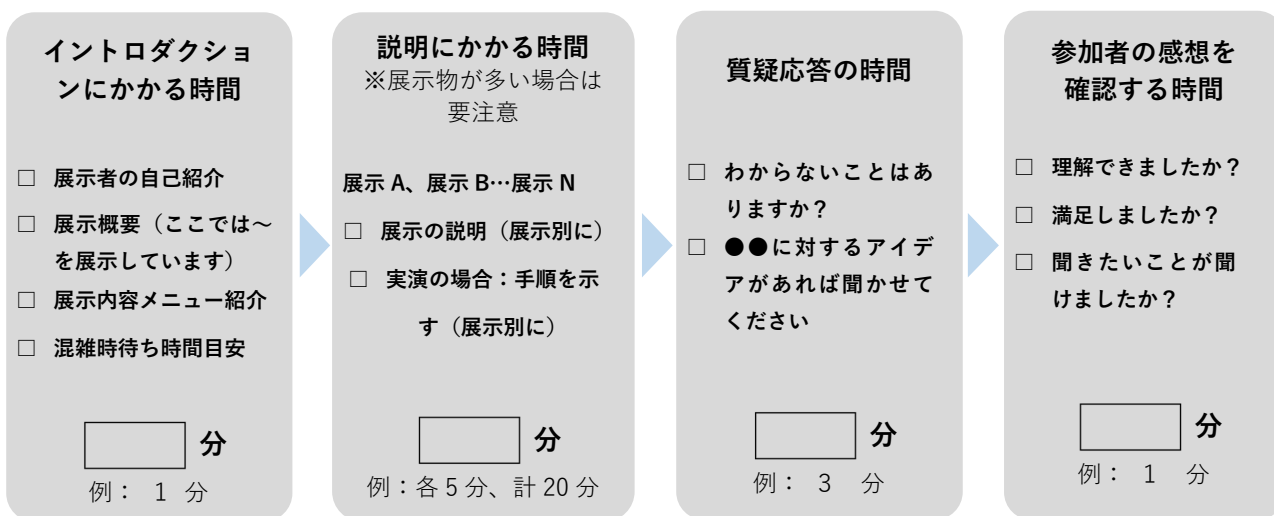
### 共創テーブル・ワークショップスペースの場合

来場者を実演等を間近で見てもらいたい場合、少人数で手を動かすワークショップをしたい場合は、共創テーブルやワークショップスペースでのセッションが有効です。特に共創テーブルは来場者アンケートで「距離感が近く、質問しやすかった」という好意的な意見が見られました。ブースが並ぶエリアで、賑わいのあるセッションを実施したい方にお勧めします。共創テーブルもワークショップスペースでの時間配分、イントロダクション、対話のポイントは、会議室等と同じです。

### ブースの場合

2016年からサイエンスアゴラで実施している「みえちゃう！ タッチラリー」（産業技術総合研究所）の分析結果からは、来場者の滞在時間の中央値は2時間、回った企画数は6~7企画程度と推察されています（セッションについてはタッチラリー参加企画数が極端に少ないため分析できていません）。平均的な来場者像を考えた場合、ブースは15分以下で説明できる内容が好ましいと考えられます。また、説明にかかる時間をブース内に掲示しておくことをお勧めします（JSTから掲示のお願いをする場合もあるのでご承知おきください）。以下のフォーマットを参考に、来場者への対応の流れをご検討ください。

#### ●ブースの時間配分の例



合計時間の目安  分～ 分 （例：最短展示 A のみ 10 分～最長展示 A から N まで 20 分）

## ●ブース内の配置例

展示には広いスペースが必要、と思いませんか？ 高さ 3m×奥行き 3m×高さ 2m の空間を徹底活用すれば、コンパクトでも満足度の高い展示が実施できます。

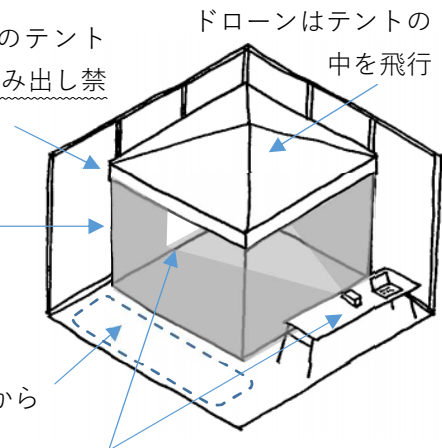
サイエンスアゴラ 2017 の『はじめてのドローン～みんなの未来を体験しよう～』（慶應ドローン社会共創コンソーシアム&ドローン女子）は、3m×3m×2m のブース内を有効活用していました。

ブースとほぼ同じ高さのテントを用意（ブースからはみ出し禁止のため）

テント周囲に網を張りドローンの飛び出しを防止（安全配慮）

操作はこのエリアから

説明時はスライド投影で分かりやすく



作成したスケジュールに沿って、ドローンの操作体験やシミュレータや実機等での説明を行う際にも、ブースからはみ出しがなく、安全に気を配った模範的な配置で、見物する方へも広がりすぎないようお願いをするなど、周辺への配慮もされていました。決まったスペースの中で、ルールを守りながら、どのような工夫をすれば参加者に楽しんでもらえるのか検討した結果が表れています。

## ●その他の注意事項

企画の装飾に、著作権処理を行わずにキャラクターを使用することはできないのでご注意ください。

## 広報計画の策定

**今年から、出展者が独自に行う広報計画を審査シートにご記入いただくことになりました。**

以下を参考に広報計画をご検討ください。

### 8月上旬～8月末まで：企画内容、タイトル、必要備品の確定

出展を成功させる担当者は採択後すぐに、効果的な告知と集客を意識し、出展内容を実施レベルで確定させています。8月下旬には、プログラム等に掲載する情報の確認・提出が切があります。関係者と打ち合わせを行い、当日の流れに沿って、必要な備品についてもご検討ください（備品申請はプログラム情報の提出と同時期に手続きが必要です）。

### 9月上旬～：告知・広報の検討、実施

サイエンスアゴラ 2019 開催の広報は事務局が行いますが、応募の条件にもあるように、個々の企画の告知・広報はご自身で行う必要があります。サイエンスアゴラ全体の来場者が多くても、自分の企画に自動的に多くの来場者が訪れるとは限りません。集客に成功した企画では、ターゲットごとに効果的な告知・広報を実施しています。サイエンスアゴラ 2016、2017、2018 で、毎回 200 人規模のセッション会場を満席にした企画の担当者は、以下のような取り組みを行っていました。



告知は開催の約3週間前です（メルマガでの直前リマインドを除く）。ターゲットは申請書作成の際に設定し、チラシ郵送やメールで告知します。例年、設定したテーマについて情報収集している人と接点がありそうな機関・団体を中心にアプローチします（調査時間も別途予定）。

1. **関係機関へのリーフレット郵送**：独自にリーフレットを作成し、公的機関や自治体の担当課等へ郵送。テーマと関係しそうな研究をしている研究者や実践者にも送付しました
2. **関係機関のメーリングリスト配信やサイト掲載依頼**：テーマに関連するWEBサイトを調べるとともに、登壇者の方に良い広報先を伺い、情報掲載を打診しました
3. **WEBサイトおよびメーリングリストと各種メルマガでの配信**：自分たちで所有するメーリングリストに加え、つきあいのある組織のメルマガにも掲載をお願いしました



## 9月下旬～：各種手続きと、台本の確定

来場者との対話内容を考え、台本を作成します。また、実施の際必要になるものを再確認します。保健所、消防署等への確認事項がある場合は早めに対応してください（各種の届けはご自身でお願いいたします）。

## 11月初旬～前日：リハーサル

余裕をもって準備し、リハーサルを入念に行うのが成功のコツ。以下のリストもご活用ください。

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 必要な物品を整理し荷物の配送を予定しておく | <input type="checkbox"/> 当日のスケジュールを整理する |
| <input type="checkbox"/> 話す内容、役割をスタッフ全員で確認しておく | <input type="checkbox"/> SNS等で開催を案内する   |

## 付録.

### 「対話・協働の深化」と「関心拡大」の両立

サイエンスアゴラは、2006年の開催当初から、サイエンスが社会と交流し対話する場、サイエンスを担う多様な人々の間の対話を促す場として設計しています。科学への関心拡大は重視していますが、そのみが目的ではありません。サイエンスアゴラは時代の変遷と共に変化し続けており、2018年からは**対話を通じて社会の声を研究開発の現場に届け、よりよい未来への共創につなげる**こと（対話・協働の深化）、**科学コミュニケーションにより参加者の関心を広げる**こと（関心拡大）、の双方を達成する運営に挑戦しています。2019年の公募では、テーマ・問いに沿った、以下の企画を歓迎します。

#### ✓ 若手研究者や大学生、中高校生等が参加できる企画

サイエンスアゴラには、多くの科学者・研究者が参加します。第一線の研究者から次世代の研究者（候補）が一堂に会して未来を考えられる企画をご提供いただけることを楽しみにしています。また、理解度が異なるカテゴリーごとに、知識を得たり、楽しんだりできる場も必要です。主催者であるJSTは、ターゲットが異なる企画のバランスを調整し、科学者・研究者が参加できる企画を誘致して、皆が交流できる場や、科学技術イノベーションの一端を体感いただける場を設けます。

#### ✓ 「社会課題解決」「地方創生」にも着目し、関係者が集える企画

世代や立場、国を超えた視点での社会課題を取り扱う企画から、家族向けの企画まで、関係者が当事者として参加できる企画を歓迎します。主催者のJSTは、科学技術で社会課題を解決する地域の取り組みを集め、多くの方に知ってもらおう場を作り込みます。

### 協賛企業の募集について

サイエンスアゴラの活動に共感し、サポートしてくださる協賛企業を募っています。協賛いただいた企業・団体には、セッションやブースを優先的に用意できる枠を設けました。詳細はサイエンスアゴラの公式サイト（<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/>）をご覧ください。

### サイエンスアゴラ出展のメリット

#### ●サイエンスアゴラは参加者全員が学べる場

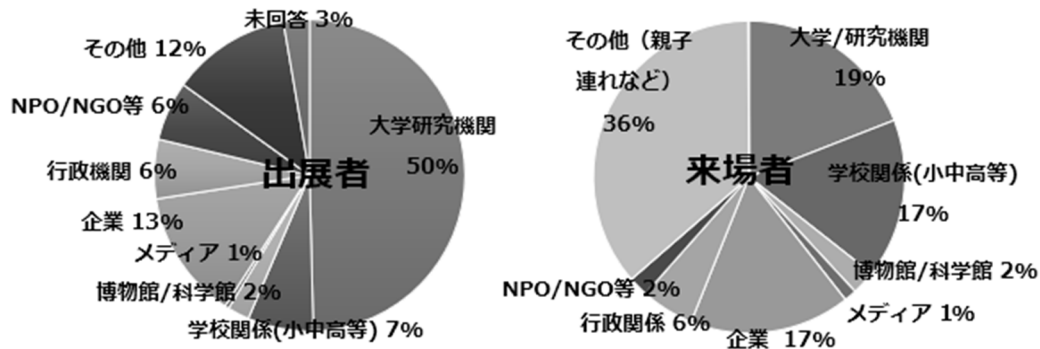
サイエンスアゴラは、来場者が楽しんだり学んだりできる場であるとともに、出展者にも学びの多い場です。サイエンスアゴラには以下の仕組みがあります。

**応募段階：**応募申請書の作成を通じて、自らの考えを深めるプロセスを盛り込んでいます。不採択となった場合でも、審査委員会からのフィードバックが得られる場合があります。

**採択後の出展準備段階：**科学コミュニケーションの専門家による、来場者との円滑なコミュニケーションに関するミニセミナーを無料で受講できます（詳細調整中）。また、今後の活動に役立つ各種手法の情報提供があります。

**出展当日～開催後：**出展者同士の交流が生まれる配置設計を経て、自らの活動に必要なパートナーや協力者など、新たな仲間が見つかるような試みを実施します。また、注目企画やキュレーションを通じて得た知見を今後の活動に生かします。

サイエンスアゴラは過去 13 回開催し、例年の来場者アンケートでは、9 割以上の方から「来て良かった」「また来たい」など、高いご満足をいただいています。なお、2018 年の来場者の割合は以下の通りです。



2018 年の開催結果については、サイエンスポータルや、公式サイトで開催報告書をご覧ください。

●4000 人が参加して「サイエンスアゴラ 2018」が閉幕 (Science Portal より)

[https://scienceportal.jst.go.jp/news/newsflash\\_review/newsflash/2018/11/20181112\\_01.html](https://scienceportal.jst.go.jp/news/newsflash_review/newsflash/2018/11/20181112_01.html)

●サイエンスアゴラ 2018 開催報告

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/reports/2018/>

2018 年の参加者からは、以下のような感想が寄せられています。

ここ数年「みえちやう！タッチラリー」を出展していますが、サイエンスアゴラを通じて開発に関わってくれる仲間や関心を持ってくれる人が確実に増えています。サイエンスアゴラでの実績を踏まえ、ビッグサイトの「Smart Sensing 2019」(2019 年 6 月 5 日～7 日)などでの導入が次々に決まり、実用化に向けての一步を進めることができました。

(産業総合研究所 人工知能技術コンソーシアム 山下和也さん)

初めての出展でした。多くの大学や企業から、理系の枠にとられない多様性のある人や視点が集まっています。今後の進路を選ぶ際の参考になりました。最近高校生が関わる研究や発表が盛んに行われていますが、サイエンスアゴラはそのさらに上に行くイベントだと思います。自分たちが研究開発してきたことを一般の来場者や他の出展者に話すことができ、対話を通じて新しい刺激をもらうことができました。また、私たちは最後に一般来場者にアンケートができたことにも満足しています。

(東京+金沢+大阪 高校生 United ~ SeaGlobe 阿部玲華さん)

2018 年に校内から出展していたので視察に訪れたところ、別の出展者と話が弾み、当校(中学生)向けに職業紹介のお申し出をいただき、2019 年にテストケースとして小さなプログラムを実施すべく調整中です。学区内の企業の協力を得て職業体験等は行っていますが、地域の外からも協力が得られると、生徒の世界が広がります。サイエンスアゴラには毎年参加していますが、新しい出会いがあるのが良いです。

(文京区立茗台中学校 校長 石出勉さん)

過去の出展者からは以下のコメントが寄せられています。

- ✓ サイエンスアゴラを契機に講演会の依頼がくるなど、交流の広がりがあって良かった



- ✓ これまでは業界内での議論に終始していた感があったが、サイエンスアゴラでは、業界外の皆さんとのトークセッションを行うことができた。参加者からは話しやすかったと肯定的な感想もいただき、有意義だった
- ✓ 来場者からのコメントは一般目線の生の声、出展者からのコメントは専門家の正直な声と捉え、今後の研究開発に活かしたい
- ✓ 企業から個人まで全国の普段知り合えない人たちと「科学」という共通の話題で話げできた
- ✓ 様々な立場の方々との交流で視野を広げられた。他団体の取り組みに刺激を受けると同時に、自分たちの取り組みについても再発見する機会となった

## 誘致企画、JST 主催企画について（2019 年 5 月 31 日現在実施予定）

### ●基調講演

【JST 企画】サイエンスアゴラ 2019 のテーマに関連し、「この文明の道行き」と「ありたい未来」を示し、ステークホルダーの行動（Action）を引き出す内容を検討しています。

### ●キーノートセッション

【JST 企画】基調講演のテーマを引き継ぐキーノートセッションでは、具体的に関係するステークホルダーにご参集いただき、協働に向けた Actionable ideas を出し合う全員参加のディスカッション形式で対話を行います。「ありたい未来」の実現に向け、自らの、また、共に実現したい Actionable ideas を示したいと考えています。

### ●国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト（IVRC, International collegiate Virtual Reality Contest）

【誘致企画】学生が企画・制作したインタラクティブ作品の新規性・技術的チャレンジ・体験のインパクトを競うコンテストです。1993 年から開催され、これまでにバーチャルリアリティ（VR）の既成概念を拡張するような、独創的で親しみの持てる作品を数多く生み出してきました。参加チームは、第一線の研究者を中心とするスタッフと関わりながら、約半年の間、全く新しいインタラクティブ作品・VR システムを企画し、実際にデバイスの製作やコンテンツの作り込みを行なっていくこととなります。完成した作品は、サイエンスアゴラでの体験型展示を通じて審査され、受賞作品が決定します。

### ●TRPG と未来シナリオの掛け合わせによる Future Scenario Playing

【誘致企画】Future Scenario Playing は、参加者によるロールプレイを通じた、未来への擬似的なタイムスリップ手法です。あるかもしれない未来の生活者を演じ、論理や倫理を超越した生々しい心情や価値観を抽出し、未来に生きる示唆を得ることを目的としています。日常とは異なる時代・立場における行動と発言の強制発想によって、参加者の未来への思考力や潜在課題発見力を養います。

### ●良縁創出企画「お台場 100 人論文」

【誘致企画】参画登録した研究者ごとに、匿名で研究テーマを掲示し、質問、コメント、アドバイスなどを付箋紙に記入する「京大 100 人論文 (<https://100nin.cpier.kyoto-u.ac.jp/src/about.php>)」のサイエンスアゴラ版です。新しいことを始めるとっかかりが欲しかった、どうしても解決できないこの課題を他分野の研究者に助けてほしい、私のスキルを誰かに使ってもらって共同研究に発展させたい、という動機がある研究者が参加できます。参画者ごとに、3 つの設問を掲示会場に一斉掲示します。展示会は学会ポス

ター発表形式となっており、会場では付箋紙を片手に、様々な参画者へ自由にコメントを記載し貼り付けることができます。後日、貼り付けられたコメントを取りまとめ、Web サイト化して参画者に公開します。参画者はそのサイトを閲覧し、適宜、コメントに返答できます。

### ●ジュニアドクター育成塾参加の小・中学生による研究発表会（20 階会議室等で実施）

【JST 企画】ジュニアドクター育成塾は、科学技術イノベーションを牽引する傑出した人材の育成に向けて、理数・情報分野の学習等を通じて、高い意欲や突出した能力を有する小中学生を発掘し、さらに能力を伸長する体系的育成プランの開発・実施を JST が支援するプログラムです。参加する小中学生による研究活動のポスター発表を行い、活動成果を確認し合うとともに、サイエンスアゴラ来場者・出展者との交流を深めます。

### ●グローバルサイエンスキャンパス（GSC）参加高校生による研究発表会（日本科学未来館等で実施）

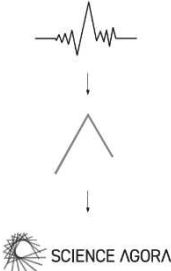

【JST 企画】GSC は、大学が高校生を対象として優秀な生徒を幅広く発掘し、講義や研究を通じてその能力をさらに伸ばすことを支援することで、将来グローバルに活躍しうる科学技術人材の育成を目指しています。本発表会では、GSC を受講する高校生が全国から集まって研究成果を発表し、優れた成績を収めた受講生を表彰します。

### ●みえちゃう！ タッチラリー

【誘致企画】来場者のブース回遊行動と満足度を、個人情報を取らない属性情報のみで、1つのプラットフォームで電子データとして収集し、人工知能によりサイバー空間上にモデル化するシステムです。サイバー空間上で個々人の価値観や会場の状況に基づいた“最短”“最楽”経路を案内するインタラクティブなサービスを提供することを目指しています。2019 年は総合受付とタッチラリーの受付を統合し、また、分析結果から来場者の満足度をはかるため、ブース出展の出展者は無料でタッチラリーにご参加いただけることとなりました（タッチラリーに必要な Wi-fi や機器は、産総研または JST が無償で貸与します）。

### ●ご意見募集ボード・セッションレポートボード

【JST 企画】JST は、会期中に生まれた議論や交流などの成果を広く共有したいと考えています。今年の「問い」は、昨年のご意見募集ボードに寄せられたご意見から、多くの方が関心を持つトピックを抽出したものです。今年もさらに深い議論が交わされることを期待し、会場全体で話し合われた内容をシェアします。また、時間の都合等でセッションに参加できなかった方にも関心を持っていただくため、レポートボードに、各セッションでの報告を貼り出します。ご意見募集ボード等で寄せられる来場者の意見もふまえて、次年度以降のサイエンスアゴラにつなげます。

 <p>SCIENCE AGORA</p>	 <p>SCIENCE AGORA LOGO CONCEPT</p>	<p>発見やひらめきを感じた瞬間、人は大きな喜びを感じます。その気持ちが跳ね上がる瞬間を捉え、ロゴにしました。一つの要素が重なり、紡がれていく様子を表しており、多数の要素が集まることで大きく広がりを見せる場を象徴します。未来へとさらに発展していく様子を未完成な形で表し、人の対話とひらめきが重なりあい、未来を創る大きな力を表現します。</p>	<p><b>皆さまからの 出展のご応募 お待ちしております</b></p>
--	---	---	---